（廿六日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢）
廣告料（雜報欄行五十錢　役所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
福島縣平町研町拾六
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

月掛郵便貯金
二月一日より開始

この貯金の取扱方は新に制定されて從來の取扱を擴張したもので其の便利な事は自宅に居ながら預入の取扱を受けられる、そして市制施行地には實施せず町村に於てのみ取扱ふ、夫れは都市に比し郵便局又は貯蓄機關の普及設備が充分でない結果痛切に貯金の必要である事を感じながらいろ／＼の用繁やなにかの關係で一定の取扱時間内に郵便局に出られぬか又は郵便局が遠くて出向く事の困難より自然實行せずに居る等の不便を救濟すると共に毎月の預金高と集金日を一定し之れにより預入の怠り勝を矯め以て地方に於ける貯蓄思想を開發し直に勤儉貯蓄の實を擧げしむる趣旨の下に實施する事になつたのである。之れが制度のあらましは

一、月掛貯金は予め定めた期間内は拂戻をなさず猶其期間中は毎月一回一定の金額を集金員に就き預入する貯金たること

一、必ず据置に限る其期間は、二年三年五年十年の四種でこれ以外は取扱せぬこと

一、一回の預入金額は、二圓、三圓、五圓、七圓十圓の五種に限る。最初の預入は二圓なれば終り迄其の金高たること

一、預入は毎月一回限りたること

一、集金は日曜、祭日に不拘取扱ひ一月一日より同三日まで取扱はぬこと

一、据置期間又は預入金額が異なれば一人で幾種でも出來又普通貯金、規約貯金、据置貯金等があつても別に月掛貯金は出來ること

一、轉居の場合は其の轉居先づ月掛金取扱區域なれば其處に於て集金取扱を受けられること

一、利率は年五分四毛で預入の早い遲いに不拘其の月から付けらるゝこと

一、預入申込は郵便局窓口又は出張員より申込用紙の交付を受け相當事項を記入し之れに現金を添へ出さるれば第一回の月掛貯金受領證と引換に取扱はれ第二回よりは月掛貯金通帳に依り預入者の指定された日に集金して取扱はるゝこと　以上

※……明日の吉凶……※

舊暦一月五日　新暦一月二十七日

▲一白　自分で自分の運氣を損ひ苦勞する事ある日▲二黑　天馬空を驅る如き勢ひある大吉盛運日なり▲三碧　薄利の日投機心を起す時は失敗を見るべし▲四緑　油斷すれば幸運の神に逃げらるゝことあり▲五黄　難みもあれど又大に助くるものありて立身す▲六白　戰々恟々身心共に落付きの無き日外出注意▲七赤　進むば吉けれど不慮の出來事に注意すべし▲八白　願ひ事の叶ふ日入學名弘め移轉等何れも吉▲九紫　遲々たる運氣も怠らざれば夕まには伸びる

講談

血で血を洗ふ　(241)

高橋掬太郎創作
布施巾八郎挿畫

明かす秘密

「たゝ、そなたは姫か――」

成昌はなつかしげに云つた

「はい」

と、千世姫が嬉しげに側へ寄らうとした時、清左衞門が慌てて聲をかけた

「いや、ちがひまする、姫君ではござりませぬ」

「えッ……」

「何んと――」

成昌も千世姫も驚いて清左衞門の顏を見た

「お驚きは御尤も乍ら、姫君ではなく拙者の娘千世にござりまする」

「ナニ其の方の娘と申すかそれは一体如何致したのぢや」成昌は益々訝かつた

「實は、奥方樣の御遺言を守り、萬一の場合を慮かりて拙者の娘と若君とをお取り替へ申したのでござりまする、千世は三日前に出生致しましたるを秘し置き若君とお取替へしたのでござりまする」

と、清左衞門は當時の事情を詳しく物語つた

「うむ、左樣か、然らば余の子は男子であつたのぢやな？」

成昌は漸くうなづいて問ふた

「はッ、左樣でござりまする深雪の方樣には玉のやうな若君をお分娩遊されしを拙者の子の如く裝ふて清之助と名づけお育て申したのでござりまする」

「成程、萬事につけて一方ならざる其方の忠心、余は嬉しく思ふぞよ。して清之助は如何致したのぢや……其方が行方不明になつてか曲物の一隊に襲はれて同じく行方不明になつたと承つたが……」

「よく御存じで御座りまする、その時お助け致したが忠太郎と拙者で拙者は若樣を山中にお伴ひ申したのでござりまするが、只今は城中にお入りになつて居られまする」

「左樣か、では清之助も無事であつたのか」

と成昌は殊のほか喜んだ

「いや、それは意外千萬。千世姫殿は主君の御姫君とのみ思ひしに清左衞門殿のお娘、拙者とは從妹の間柄でござつたか」

と忠太郎は呆氣にとられてゐた

「では妾は御身の娘……」

千世姫は清左衞門の側へ進み寄つた

「いかにも拙者の娘ぢや」

「お父上樣……」

父娘は相抱いた

「忠太郎樣」

と、千世姫は稍ゝつてから言葉も改まつて忠太郎に言つた

「知らぬ事とて、今日まで御無禮の段はどうぞお許し下さりませ」

姫は忠太郎が從兄と判ると、却つて戀しさ慕はしさが深く感ぜられた

「いや、拙者こそ――」

と、忠太郎も主從といふ重苦しい枷が除かれて急に親しくなつかしくなつたやうな思ひであつた

「忠太郎――」と成昌が呼んだ

「はッ――」

忠太郎は成昌の前に平伏した

「其方は石川忠兵衞の子であると申したのう」

「御意にござります」

「左樣か、よく働いてくれた、其の方の父忠兵衞も余のために死んでくれたと申すことであるし、其の方も父の志をついて今日まで忠義のための艱難辛苦、余は有難く思ふぞよ」

成昌は忠太郎の手を執つて感涙にむせんだ

「はゝッ勿體なき其のお言葉、有難うござりまする」

忠太郎も限りなく感激の涙にむせんだ

此の時、神部清左衞門は呆氣に取られて呆然としてゐる諸士に向つて大音聲で

「やあ／＼各々永らくお行方不知の御主君成昌公がお歸り遊ばされた此の上は改心致して忠義働きを致さばよし左もなくば片ツ端から斬つてくれやう、どうちや」

と呼ばはつた

株式會社 磐城銀行

第六十四期 貸借對照表

昭和二年十二月卅一日現在

資産之部	
諸貸付金	六、一八一、四八六、〇八六
他店貸及預ケ金	一〇八、九三一、七五〇
所有有價證券	五六三、二二二、八九〇
營業用及所有不動産	一三〇、五七七、五三〇
雜勘及本支店未達勘定	一五、六〇七、九二〇
現金有高	二八三、六九一、五七八
計	七、二八三、五一七、七五四
負債之部	
資本金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	五三六、三九六、〇〇〇
諸預金	三、八一八、八七八、七五四
日本勸業及日本興業銀行勘定	一、九六六、六一〇
他店ヨリ借	一四八、三一七、五七〇
借入金及コールマネー	二九九、〇〇〇、〇〇〇
再割引手形	一、五八一、六四〇、〇〇〇
未拂利息	一、四三二、四四〇
未拂利息及未經過割引料	五八、〇五〇、八六〇
預金税金	一、九六一、四一〇
當期純益金	八五、八七四、一一〇
計	七、二八三、五一七、七五四

準備金及利益配當案

一當期純益金	八萬五千八百七拾四圓拾壹錢也
法定準備金	金壹萬圓
特別積立金	金壹萬圓
行員退職給與積立金	金三千圓
役員賞與金	金參千圓
配當金	金貳萬八千百二十五圓（年七分五厘）
後期繰越金	金參萬壹千七百四十九圓拾壹錢

右之通リニ候也

昭和三年一月二十二日

株式會社 磐城銀行

專務取締役	白井一郎
取締役	白井博之
同	木田織江
同	安島重三郎
同	山崎與三郎
同	諸橋久太郎
取締役支配人	草野順平
監査役	高岡唯一郎
同	小野晋平

南町 大和家 電話十四番

忘年會 新年會 御宴會

日本料理 五品

澤ノ鶴壹本付

壹圓

廣告

吉田 眼科 醫院

四陣堂々敵營を壓する大陣容

敵の勇者に鬪しての格鬪 我等の海の強者 市川百々助 大車輪劇 濱の若者 全八卷

父は討たれて悲嘆にくるゝも束の間…獨然立つたる勇猛な雄姿…勇しきかな復興の氣…海陸に亙つて縱横無盡痛快無比の大殺陣劇……

絶海洋上 孤島の勇者 八卷

原作自演 東郷久義、小宮一晃、三保松子熱演

端麗優美の一青年と海賊團の一行との間に散る鐵拳ノ火花…怪男兒東郷の活躍は我等の手に汗を握らせ息を呑ましむ……

下町情緒 ヒカの子草紙 全十卷

藤間林太郎、里見明、歌川八重子、松葉笑子、高津愛子

私は義理と人情の柵に泣いた頃の緋鹿子の草紙と題して美しい情緒をそのまゝに此の一篇をさゝぐ

江戸往還の中心點 お江戸日本橋 十二卷

中根龍太郎、玉木悦子の大競演

大江戸の闇を縫ふて出沒する怯賊…闘殺團…暴闘組等々田沼自慢の太毛槍を振ふ強力奴怪しきお高祖頭巾の女…走馬燈の如く展開

廿七日より替

土曜日曜晝夜二回

帝キネ マキノ

有聲座

電四四六番

片濱自動車運轉

平、高久、豊間、江名

停留所

一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋

電話…二一七番 …一四二番　御三人以上はお迎ひに參上致します

平町四丁目和泉屋旅館前

鈴木 片濱自動車商會

宮内省御用達

ヒゲタ醤油

釀造元 銚子醤油株式會社

特約店 平町田町 廣瀬支店

電話五四番

御婚禮 御宴會 新年會

特にご勉強いたします

割烹 末廣

電話四二一

深キ經驗ト正シキ學理ヲ基トシテ最新ノ設備ト優秀ナル技巧ニ依リ

多産廉賣

益々聲價漲ル 萬年瓦

仙臺高等工業學校試驗證明

鐵道省 福島縣廳 栃木縣廳 青森縣廳 指定品

福島縣四倉町

萬年瓦工業株式會社

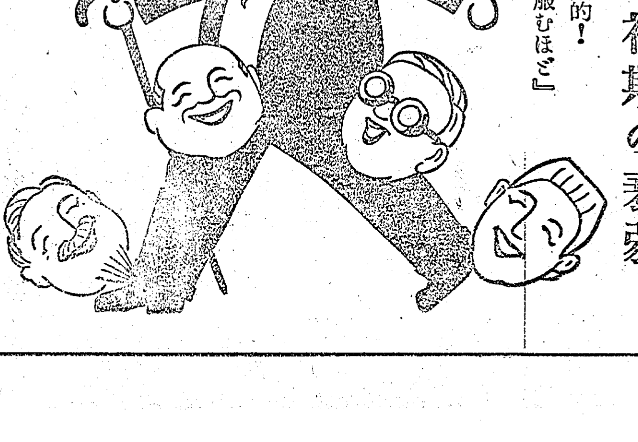
電話三八番

夜間診療

胃腸 内科 十二指腸虫病 專門 内科部

梅毒 淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部

平南町 松村病院 電話一〇七



生殖機能は

健康の中心
精力の源泉
閑却され易き初期の衰弱

『これは素的！服めば服むほど』

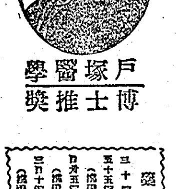
トツカピン

生殖機能が――減退すれば全身衰弱して、苦んだ揚句、遂には無上の幸福をも喪失する、遺精や夢精、早漏の徴候に油斷せず、直ちに召せ、トツカピンを

神經衰弱が――原因で罪を犯し、精神に異狀を來し、落伍者となり、甚だしきは自殺するものさへある！何といふ恐しい現象であらう。醫藥に迷はず斯界の權威トツカピンを服んで直ちに復活を…

不眠症――一晩の不眠がどれ程身心を狂はすであらうか…二日三日と不眠が續けば身體は綿のように衰弱する、何んとかして快い睡眠を求めたいといふ人にトツカピンは眞向きです

精力増進――生存競爭は日一日激烈となつて行く現代に「力」がなくて何が出來よう…百萬圓の金よりも尚貴きは強壯劑である。當藥の如く溌剌なる活力を求むるものは服め！



戸塚醫學博士推奬

藥價
三十錠 三円
五十五錠 五円（携帯容器付）
百十五錠 拾円（携帯容器付）
二百十錠 廿円（携帯容器付）

（用法）一回一錠 一日三回

發賣元
東京市銀座新肴町八番地 振替口座東京七二二一番
丁子堂藥房
大阪市西區立賣堀北通二ノ九 振替口座大阪百六番

政友公認は木村清治氏

滿場一致で推薦快諾を見た

けふ石城政友豫選會

石城政友倶樂部の代議士候補者豫選會は今二十六日午後一時より平町聚樂館に於て開會安島會長、鈴木幹事長、高岡、白井(二)、金成、山崎、小野、古川、伊藤諸氏を初め東京より中野浩忠氏の來平あり出席約三百餘名、定刻鈴木幹事長の開辭に次ぎ安島會長座長席に着き種々協議の結果各町村より若干名の選衡委員を擧げ委員會は午後二時より扇屋旅館に於て開き安島會長より經過の報告あり會議に移り滿場一致を以て木村清治氏を推薦し兩氏の承諾を得て之れを本會に報告し木村氏の挨拶、中野浩忠氏の激勵演說あり滿場拍手裡に當選を期して奮闘を誓ひ三時散會したが安島會長の報告によれば解散直後の去る二十二日幹部會を開き呼聲の高い金成、木村兩氏のうちより誰人かを物色すべく選衡の結果木村氏に交渉したが承諾が無いので金成氏に交渉せるも事業に專心する金成氏はその煩に耐いずとして固辭するので更に交渉は逆戻りし木村氏に快諾を得るに至つたのであると

軍資金を備へて佐川氏今夜來平

比佐氏の四面淋し

狼狽せる民政黨

石城民政派では二十四日幹部會を開き協議の末十一名の詮衡委員を擧げ今二十六日福島支部に開催される總會に出席豫選することに決定したが、結局比佐昌平氏に決定するものと

觀測される、しかし民政派にとつて大きな惱みは舊憲政會系の人々が氏家濟氏を應援する意向であることで、比佐氏の無氣力に愛想つかした少壯の有志派連は本郡出身にして大阪市在住の辯護士佐川深氏を推し玉碎主義を以て過日の豫選會に於て公認を迫つたこと既報の如くであるが佐川氏に贊成するもの、氏家氏に應援する者が續出し、比佐氏を取卷く者が極めて少數となるのであらう事は明白な事實となつたが過般

執行された縣會議員選擧當時既に幹部派反幹部派の軋轢があり幹部の横暴振に憤慨してゐる多數の黨員等は益々反比佐熱を高め佐川氏の爲め既に戰端準備に移つた、即ち佐川氏は昨二十五日「ジンビデキタアスユク」の電報を平町の某所に寄せ昨夜大阪を發し今二十六日夜中に來平直ちに運動を開始する段取りとなつたが或る爲めにせんの一派は佐川氏が軍資金の不足から或は中途休職を餘儀なくされるであらう等々牽强附會の說をなしてゐるが事實佐川氏は既に數萬圓軍資金を備へ意氣天を衝くの勢力を把持し大いに飛躍する事となつたから比佐氏の形勢は非常に難色あるものの如く觀測されてゐる

縣教育會で映畫教育班

設置の計劃中

縣教育會では新らしき試みとして縣下小、中學生に映畫教育を施すため教育會内に映畫教育班を設るべく目下計畫中にあるが是は一般巷の映畫熱流行に際して一般映畫からの惡感化を除去するためで公開映畫は主として文部省推薦映畫のみを選び各町村學校郡會では常設館を特に教育映畫デーを指定して肩のこらない興味本位に智識向上を圖りたいと云ふにある

二千餘圓を增した郡農會の豫算

きのう總會を開き

各町村の分賦額

石城郡農會では二十五日午前十時から平町元郡役所會議室に總集會を開き豫算其他の決議を遂げたが昭和三年度收支豫算は一萬二千六百六十八圓にて前年度に比し二千二百七圓の增額を餘儀なくされたので經費分賦收支方法を町村農會分賦金九千八百十三圓を二ケ町村二十六圓宛の平均割とした外殘金六千五百四十九圓を田畑地價金百圓につき十七錢六厘五毛として分賦徵收を五月十月の二期に行ふ事としたが各町村農會分賦金左の通りである

△泉三百六十九圓△渡邊二百六十六圓△植田三百四十三圓△山田三百四十五圓△錦三百九十一圓△勿來三百六十二圓△上遠野二百九十二圓△入遠野二百三十一圓△川部二百五十一圓△田人組合百七十八圓△平二百二圓△[illegible]野三百九十九圓△夏井三百二十七圓△高久二百六十五圓△豐間百七十七圓△江名百九十二圓△鹿島三百一圓△小名濱百五十圓△玉川三百九十九圓△磐崎四百四圓△湯本百七十八圓△内郷二百八十六圓△好間三百四十圓△赤井三百十一圓△永戸組合二百二十五圓△三阪組合二百三十七圓△神谷三百二十三圓△草野四百五十一圓△大浦三百三十七圓△四倉百四十七圓△大野三百八十二△平窪三百五十九圓△下小川組合二百十六圓△川前一百四十三圓

小名濱漁業組合の

優良（船主漁夫）表彰式

水産工業會社からも

きのふ盛大に

石城郡小名濱町漁業組合並に磐城水産工業株式會社合同主催の優良漁船及び優良船長其の他の表彰式は二十五日午前十時より同町公會堂に於て擧行した、水産工業を代表して社長小野晉平取締役廣崎貞衛氏出席來賓は鈴木町長、郡司二郎氏外同町有志一般來會者二百餘名に達し定刻漁業組合長立花雄七氏式辭に次き

事業の報告をなし次に水産工業株式會社支配人瀧尾伊太郎氏は鮮魚委托販賣事業の經過報告あり總つて表彰に移り左記諸氏に對し立花組合長より褒賞狀と賞品を授與し次に水産工業株式會社長小野晉平氏は小名濱町の漁業が逐年發展しつゝある事は誠に喜ばしいと前提し行き詰れる刻下の經濟界を打開するにはお互

精勤以て斯業の進展を計らねばならぬと挨拶を兼ねた激勵演說を試み優良鮮漁商人に賞狀を授與し更に鈴木町長より優良漁夫に對する町表彰を行ひ次に飛塚郡水産會長より代表優良漁船に對す表彰式を行ひ町會議員小野務平氏は小名濱港築港實現に直面せる町民の覺悟と同町産業の中心團体たる漁業組合の

義務的覺悟を說き併せた祝辭演說をなし受賞者總代の答辭あつて午後一時式を閉じそれより新米に盛大な祝宴を張つた

授賞者氏名

△春沖曳ノ部

（船主）　（船長）

田中權次郎　白土　由松

田中權次郎　飛田　實吉

水野政次郎　初瀨兼太郎

水野政次郎　堀越辯次郎

久保　田眞　小野　寅松

△鰹職ノ部

野崎　貞行　佐川　庄助

△春餅流ノ部

野崎　貞行　佐川　庄助

△秋沖曳ノ部

田中催次郎　白土　由松

比佐　鑑藏　小松龜太郎

小野　豐司　志賀丑太郎

久保田　眞　小野　寅松

野崎　貞行　田仲　濟藏

△秋刀魚ノ部

野崎　貞行　佐川　庄助

△鹽利網ノ部

鈴木　賢次　鈴木　賢次

松原惣右門　松原惣右門

△揚繰ノ部

水野政次郎　小野　惣吉

△優良鮮魚商

(甲)小野總藏、比佐鑑藏、野崎才助、比佐多重、田中權次郎、鈴本元次郎、小野農次、鈴木駒次郎、(乙)小野利平、馬上勝次、小松留之助、丹野永太郎、小野疊一郎、伊藤儀助、新妻ハル、薬谷ヨシ、本間セン、(優良鮮魚商ハ磐城水産工業株式會社ノ表彰)

△優良職工

八巻儀助(水産工業表彰)

郡水産會表彰

田中權次郎、白土儀松

(以　上)

泥醉した亭主を女房が撲り殺す

舊正月二日の朝に

檢事實地檢證

石城郡上遠野村根岸農櫛田市郎(五二)は去る廿四日午前十時頃舊正月二日の朝から好物の酒を引かけ泥醉した爲め妻タツ(五〇)は日頃の鬱憤止み難く大喧嘩となりタツは前後不覺に泥醉した夫市郎の頭部を慘々に毆打し遂に腦震盪を起し廿五日午前八時死亡した廿六日午前十時平檢事局から窪田檢事現場に急行檢證をなした事件は豫審に入れるを以て報導の自由を有しないが原因は痴情關係らしく目下嚴重取調中にある

立小便の罰

竹之助捕はる

平町字北目町生れ當時好間村大字上好間字[illegible]田内藤竹之助(三九)は昨廿五日午後三時頃平町に買出しに來たが歸路前のカフエーで飲酒し泥醉して平町二丁目平銀行前の街路で立小便を始め通行人に喰つてかかつてゐた所を警備中の青木巡査が發見本署に二夜留置の上放還した

石城販賣組合が繭市場の計劃

産繭の聲價を高め

實質向上に努力

石城販賣利用組合が平及植田町に四倉市場同様の繭市場を增設して更に養蠶家の救濟を徹底せしめんと計劃中なることは既報の通りで早晩其實現を見るに至るべき模樣であるが同組合では既に四倉市場に於ける成績に徵し養蠶家及製糸家方面から認められてゐるので本年は例へ四倉市場のみにても向一層の實績を收めんと最早繭取引に於ける製糸家筋の勸誘に着手し縣下をはじめ宮城、茨城、群馬、長野縣下等の大製糸場に向つて書狀を發してゐるが倘本年には養蠶同業組合の應援を求め蠶兒飼育の改善を徹底的ならしめ優良繭を生産して石城産繭の聲價を揚しむると共に組合の實質を向上せしむることに努める筈であると

内郷信組總會

廿九日裁縫學校

石城郡内郷村信用組合第十三回通常總會は二十九日午後二時から同村裁縫學校に於て開催理事長川崎太郎氏より昨年度の事業報告、貸借對照表剩餘金處分案等に就て報告及協議ある筈

今度こそは

高木町長辭職

多分來月初め

紛擾を續けてゐる石城郡湯本町では廿三日午後一時から町會議員の協議會を開いた結果區會から引責辭職を迫られてゐる高木町長に對し辭職を勸告し同時に高木氏に對する告訴取下げを斡旋し町平和を圖るべく協議纏まつたので本月末か二月はじめに町長辭職實現するらしいと

△△△△△△

土藏に贓品の山

一切を自白し終つた

萬引男の後報

平警察署の二瓶刑事が逃走せるを追跡格闘して逮捕取調中なりし石城郡上遠野村大字瀧雲藤信一郎(三三)に就ては既報の通りであるが同人の自供により植田署管內にて稼ぎ貯めたる贓品は自宅土藏內に隱匿しある事を申立てたので二十五日同刑事は信一郎宅に赴き取調べし所土藏內に貴金屬、婦人ショール、純毛オーバスイター等高價なるもののみ十數點を隱匿してあつたので之れを押收歸署植田署に照會嚴重取調中であるが信一郎方は村內にても裕福なる家庭にて何不自由なく昨年など數千圓を投じて居宅を新築したる程で信一郎の病的萬引には村民も唖然とさせられてゐる

選擧の心得（一）

之れだけは忘れるな

今回の選擧に際し、一般有權者の普選智識涵養をなすため縣警察部警務課では、內務省の訓示に基き三十萬有權者に配布した『選擧の心得』なる小冊子內容は次の如くである

◎選擧とは如何なるものか

選擧とは國政に參與すべき代表者を選擧する國家の重大なる公務でありまして投票に依つて行ふのであります、故に選擧のために投票を行ふことは、立憲國於ける國民の重大なる責務であると同時に、之に依つて國民自らが國政に參與するのでありますから、選擧權は憲法治下に於ける國民の享有し得る特權であります、此の特權は即ち參政權であります、

專制政治の國に於ては、立憲法もなければ、議會もなく、又選擧もないのであります、從つて此制度に於ける人民は全く國政に參與するの途がないのでありまして、國の政治は一に主權者の意思のみに依つて行はれ、民意は全く國政の上に表れないのであります、此の如き專制政治の下に於ける國民と、現在我國の如く立憲政治の下に於ける國民とは、實に霄壤の差があると申さなければなりませぬ

×

茲に改めて言ふまでもなく、立憲の制は憲法に依り國家政治權の作用を立法、司法行政の三形式にわかれ立法は帝國議會に依り、司法裁判所に依り、行政は政府に依り各相牽制して行はるる制度であります

而して其の特色とするところは一面に於ては多衆政治と云ふ點であります、即ち汎く國民に參政權を認め其の參政權の行使に依つて代議士を帝國議會におくるのであります、他の一面に於ては法治組織、即ち國家も亦國民も總て法律命令の範圍内に於てのみ活動することであります

×

立法機關たる帝國議會は政府の行政上の基準となる法律及び裁判上に於て適用する法律を議定するばかりでなく、國民一般の安寧と幸福とを保持し增進する爲め費用の見積である豫算に協贊を與へるものでありますから、政府及び裁判所と共に憲法上の國家の機關として極めて重なるものであることは言ふ迄もありませぬ、從てその議員が若し適任者でなく、國民の意志に副はないやうな人でありますと、國家や國民の損害の多大であると申さねばなりませぬ我が帝國議會は貴族院と衆議院とから成立つて居ります議事此院は憲法上其の職分に輕重の差がある譯でありませぬが、衆議院は其の本質上民意を表明する機關として君意民心の一致を實現すべき重要な職分を持つて居るのです選擧は實に此重要な職分を有する衆議院の構成分子たる議員を選擧するのでありますから、洵に大切な國務であります而かも此の大切な國務は各自の有する選擧權即ち一票づつの投票に依つて遂行せらるるのであります加之、此の國務が完全に實行せらるゝと否とは其の一票づつの投票權の行使如何に依つて彼れものであります、之を極言致しますと實に立憲政治は各自の有する一票を土臺として築かれたものだと申して過言ではないのでありまして、選擧權の貴重なること一票の貴い所以も亦實に茲にあるのでありますのでありますから、若し選擧人にして此の重要なる國務の遂行即ち貴重なる權利を行使すべき選擧に當り、投票を怠ることも投票はしては、其の投票が適正でなかつたといふことがありますればそれは全く憲法の精神に背くものであつて立憲國民として此の上の不心得はないと申さねばなりませぬ

電話開通

六四〇番を御利用下さい

平―湯本
平―四ッ倉
間（乘合）（御三人以上はお迎ひに參上致します）

特に貸切は勉强致します

尼子自動車部

平町二丁目

◆廿七日より優秀映畫週間

日活超特作大雄篇、尾上多見太郎決死猛闘

（報恩義劍）恩讐の血煙　全

葛木香一、櫻木梅子、實川延一郎
木下千代子、尾上卯多五郎　助演

原作　菊地寛　主演　栗島すみ子

後篇　眞珠夫人　全

黄金魔莊勝平の慘虐な迫害に泣く唐澤親子、ルリ子の復讐はユーデットの如く……自から莊田夫人となり反抗の……凄慘なる……精神の攻戰……？

ハロルドロイド畢生の大傑作

（人情喜活劇）田五作　ロイド一番槍　全

原名〔子供の弟〕從來の喜劇型を破りメロドラマの色彩に活劇とローマンスを多分に持て居る

大河内傳次郎獨特狂刄亂戰

仇討走馬燈　劍と戀　全

或る城下ノ夕暮れ……討つ武士と討たれる武士の呪の劍を拔合された……殺氣滿る時文政二年の秋の初め……

料金普通

土日曜學生デー

日活松竹特撰映畫
高級常設　平館　電(四六六)

平町郊外關ノ上

土木建築請負　強口唯七郎

電話四〇一番

砂利、砂は御用命あり次第砂一升砂利一俵以上直ちに御屆けいたします

平町紺屋町　吉田眼科醫院

外科、耳鼻咽喉科
內科、泌尿器科
X光線科

外科　赤心堂病院

平町字田町
電話四七五